

令和元年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 福祉部障がい福祉課

施設名	弘前市弥生荘
施設の設置目的	障がい者がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むための支援を行うことにより障がい者の福祉の増進を図るため。
所在地	弘前市大字中別所字平山140番地1
指定管理者名	社会福祉法人弘前草右会
指定期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	<p>運営の基本方針に基づいて年間行事、職員の研修参加など工夫され利用者の生活の質の向上を図るなど支援体制が充実しているため、概ね適正に実施されていることが確認できる。</p>
2 利用者サービス向上のための取組状況	<p>利用者が安全で快適な生活が送れるよう、人権擁護委員会、サービス評価委員会、利用者生活委員会及び安全環境委員会を設置し、施設運営の適正化に取り組んでいる。 また、利用者ニーズを職員会議で検討したり、職員研修会を定期的実施するとともに、有資格者の割合を高めていくため、資格取得への配慮や研修への参加を促進している。</p>
3 利用者ニーズの把握の実施状況	<p>利用者ニーズを把握するため、年1回利用者の保護者を対象としたアンケートを実施し、対応可能なものから改善を図っている。アンケートは、令和2年2月7日から2月29日に実施。</p>
4 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>定員50名に対して、令和元年度末の入所者は49名（入所率98%）となっており、利用状況は良好である。</p>
5 指定管理業務の収支状況	<p>指定管理料内での施設運営に努めており、継続的に安定したサービスの提供できる体制が整っている。</p>
6 実地調査の結果	<p>施設運営については、良好である。施設管理については、施設及び設備の長寿命化を図るため、計画的な修繕及び備品の更新が課題となる。</p>

7 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	自主事業は行っていないものの、関係法令等の遵守し、基本業務、付随業務等適切に実施出来たものである。	引続き基本業務、利用者ニーズの把握などに努めたい。
施設の管理	B	建物及び設備の維持管理等適切に行われたものである。	施設の修繕に関しては、利用者の安全を最優先に考え、市と協議の上、実施していきたい。
経理の状況	B	帳票等の整備、事業の収支等、適切に行われたものである。	引続き経費削減に努めたい。
団体の財務状況	B	概ね良好である。	引続き法人の財政安定に努めたい。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	事業計画、運営の基本方針に基づき施設運営は適正に行われている。	今後も更なる利用者ニーズの把握・反映が必要である。
施設の管理	B	保守点検や清掃業務等も確実に実施されており、施設管理は適正に行われている。	施設の長寿命化のため、計画的に施設修繕や備品更新が必要である。
経理の状況	B	毎月伝票等の確認、貸借対照表を確認していることや人件費と維持管理費を分けて管理しているなど経理状況は適正に行われている。	利用者へ配慮しながら、光熱水費等の経費削減が求められる。
団体の財務状況	B	指定管理料内での運営に努めており、継続的に安定したサービス提供ができる体制が確認できる。	安定した質の高いサービス提供を継続するため、修繕費等の充実が必要となる。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する